

③ つどい

～ お部屋の中で～

室内で行うレクリエーションは、歓送迎会やお楽しみ会など、年間を通じて開催する機会も多く、たくさんの参加者が集まる行事です。
四季折々や年度の節目には、こども会で“楽しいつどい”を企画してみましよう。

◇ 「つどいの目的」は何ですか？

まず、なぜ集いを開くのかを考えましよう。毎年この時期にやっている行事だから今年も…、というのではなく、目的をきっちりと話し合って決めましよう。しかし、あまり難しく考えないで、これまでやったことのある“つどい”を参考にし、少しアレンジするだけでもよいでしよう。

大切なのは、「つどいのねらい」を明確にすることです。

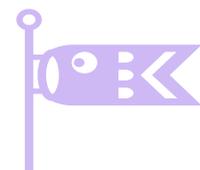


◇ 「つどいの目玉」を考えましよう

つどいの内容についても、今までのやり方にこだわることはありません。新しい発想と演出で、楽しいつどいをみんなで考えましよう。こどもたちのいろんなアイデアを積極的に取り入れてみましよう。きっと楽しい“つどい”になりますヨ！

◇ 「つどいの構成」を考えましよう

楽しい企画をたくさん集めましよう。それらの流れを考えて、組み合わせればできあがりです。テレビのクイズ番組などは参考になります。つながりのない企画でも、1部と2部に分ければ不思議にマッチするものもあります。ただし、詰め込みはいけません。時間的な余裕も考えて構成ましよう。



◇ 行事の準備は、余裕を持って無理をしないこと

こどもの日、七夕、敬老の日、ひな祭り、節分など、時節に合わせたつどいが考えられます。

準備には最低2～3ヶ月の時間的な余裕を持って取り組ましよう。

◇ 地域ぐるみの楽しいつどいに

すべてをこども会単独で行うのではなく、地域の自治会や老人会など、協力し合えるところをさがして、地域ぐるみの楽しいつどいに発展させましょう。資金面や人的な援助も期待できそうで、活動の幅も広がります。負担を増やすのではなく、軽減し合える協力体制作りも大切です。



◇ 情報収集も大切な活動です

地域の中に「奇術」「楽器」「歌」や「おどり」などの達人はいませんか？ さがせばすばらしい人に巡り会えるはずです。ぜひ、特別ゲストとして協力を求めてみましょう。もちろん、指導していただき、一緒にやってみると楽しさもふくらみます。紙芝居など『出前』してくれるところもあります。公民館などに問い合わせしてみましょう。

◇ こども会への体験参加はいかが？

つどいによっては、こども会入会へのきっかけ作りとして、未入会のこどもたちや、次年度の入会予定者（幼児＝保護者同伴で）などにも声をかけてみましょう。こども会活動への理解を深め、楽しいこども会をPRする機会を積極的に設けましょう。



? 何がいるの？



➤ 会場の準備

地域の公民館やコミュニティーセンターなどを最大限に活用しましょう。また、施設を開放している学校も増えてきています。問い合わせてみましょう。

➤ 会場の飾りつけも大切な演出です

せっかくみんなが集まるのですから、テーマにふさわしい飾り付けを考えましょう。時間がなければ、会場の出入り口や正面だけでも充分雰囲気伝わります。

班毎に看板や垂れ幕を作るなど、作業の分担をして準備もみんなが進めましょう。

➤ 招待状も作りましょう

参加の案内とは別に、つどいの主賓（主役たち）には、こどもたち手作りの招待状を出してみましょう。

当日までの期待もふくらみ、きっと参加も増えることでしょう。

気をつけよう！

☑ 参加人数にあった会場選びを

「大は小を兼ねる」といいますが、あまり広すぎるのも考え物です。こどもたちに目が届かず、思わぬ事故につながります。狭い会場では、低学年と高学年で時間帯を分けることも考えましょう。

☑ 初めての会場は必ず下見をしましょう

暗すぎないか、床は滑らないか、窓ガラスは…など、会場の状態を細かくチェックして、安全には気を配りましょう。

マイク設備や使える備品類も確認しておきましょう。また、会場によっては制限を受けるもの（壁への掲示物、飲食の可否）もあるので、施設側との十分な打ち合わせも忘れずに！

ワンポイント

➤ スタートは新入会員歓迎会 「新しい仲間を迎える会」

主役は新しくこども会に加わったメンバーですが、ぜひ保護者の方にも参加を呼びかけてみましょう。育成会としても、これからの活動への協力者を見つけるチャンスです。

また、1年間のはじまりをスムーズに行うためにも、活動の目的や内容、決まりなどを伝えて、みんなで再確認する時間も大切にしたいものです。

レクリエーションの企画は、楽しいこども会をアピールし、仲間意識を深めるための班対抗ゲームなど、新入会員を交えたものを考えましょう。

これから一緒に活動するためのきっかけ作りにしたいものです。

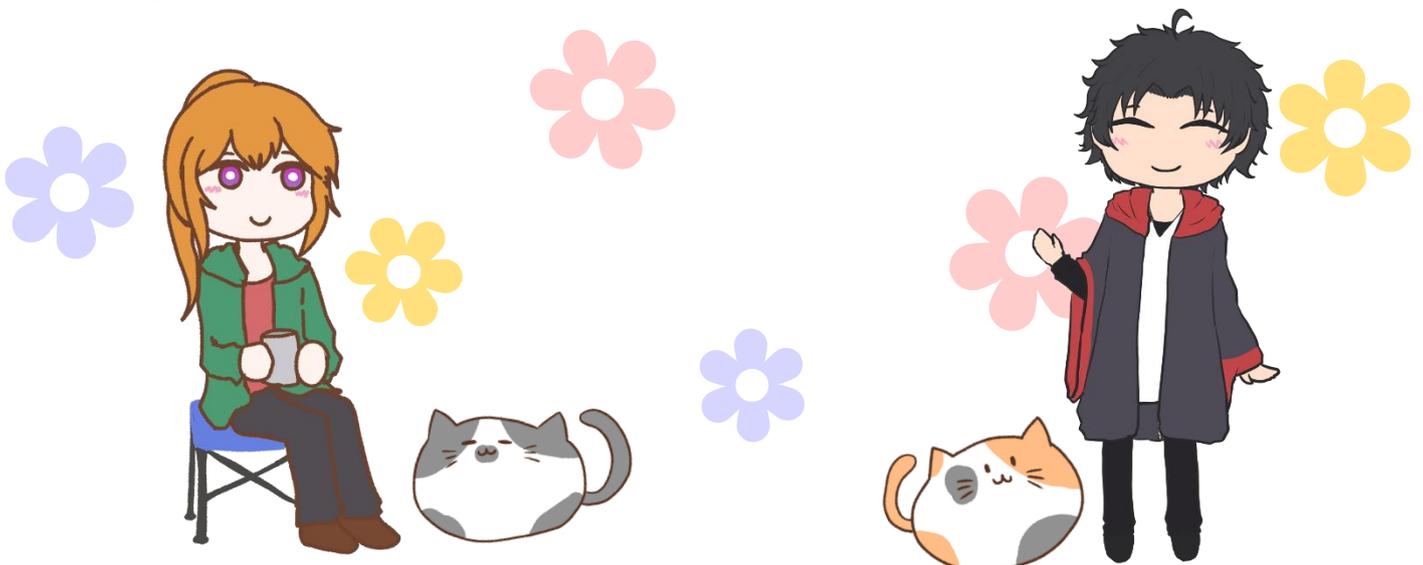
➤ 年度の締めくくりは“お別れ会”ではなく、『進級・進学おめでとう会』を！

中学生になったらこども会とお別れというのも寂しいものです。

「中学生なってもリーダーとして活動してネ」という気持ちで、『進学おめでとう会』を企画してみてもどうですか？ また、こどもたちの生の声を大切にする意味から、1年間の活動のふりかえりを行ってみるのもよいでしょう。

ビデオやスライドを見ながら、おもしろかったことや、つまらなかったことなど、わいわいトークングするのも楽しいですよ。

できれば、次年度の役員さんにも来てもらい、情報収集の場として大いに活用しましょう。



簡単クッキングのおすすめ

少しお腹がすく頃や、おやつの時間など、市販のものを配るだけではなく、みんなで作ってみるのはどうでしょう。

簡単なものを、みんなでわいわい作るのは楽しいプログラムになります。

◇ クッキー



市販のホットケーキミックスを使えば、ホットプレートで超簡単！

◇ オープンサンド



材料を並べておけば、後は自由にトッピング

◇ ケーキ

市販のスポンジケーキを使って、ホイップクリームで飾り付け

後は缶詰の果物をのせるだけ！考えるだけでも楽しくなります。



★ 材料や分量などは少々違って大丈夫！

◇ 当日の主役をはっきりと

こどもたちが主役です。“お客さん”ではないのですから、自らが参加できるように、企画からこどもたち中心に進めるように配慮しましょう。

見ているだけではつまらないものになってしまいます。参加してこそ楽しめるものです。

◇ 当日の司会・進行もこどもたちの手で進めましょう

こどもたちが「自分たちの“つどい”だ！」と思えるように、準備段階から当日の司会・進行まで考えることができれば、すばらしい催しになります。

『 **こどもたちに任せることは、時間と根気が必要です。
最初からすべてを任せては、こどもたちも大変ですから、
徐々にこどもたちの手が加わるように進めていきましょう。』**

これは、こども会活動すべてに言えることです

◇ こども会会員以外の参加も考慮しましょう

行事によっては、地域の方を招待したり、会員以外にも広く呼びかけることも考えましょう。地域に根ざしたこども会を目指して、理解と協力を得ることは、将来につながる大切な活動です。